

# JRA京都競馬場 マルチ画面 ターフビジョン



所在地：京都府京都市伏見区葎島渡場島町32  
 施工：東芝ライテック(株)  
 更新完工：平成19年10月

春の天皇賞や秋の菊花賞が開催される競馬場として知られているJRA京都競馬場。

映像表示装置は世界最大級の超大型マルチ画面ターフビジョンに更新され、圧倒的な迫力と高品質な映像を提供しています。

## 古都らしい風情を感じさせる美しい競馬場。 世界最大級のマルチ画面ターフビジョンを採用

京都市伏見区に82年前(1925年12月)に開設され、現在に至っているJRA京都競馬場は、芝コースの全長最大距離1,951m、4コーナーからゴールまでの最大直線距離は404m、コースの幅員は最大35mを有しています。春の天皇賞や三冠競争の最終レース、秋華賞・菊花賞が開催される競馬場として知られており、正円形で中心に樹木を配したパドックや内馬場に噴水のある池、そして「淀の坂」と呼ばれる第3コーナーの坂が特長となっています。春の天皇賞と秋の菊花賞では、この坂を登って下って、加速にかかるデッドヒートが目の前で繰り広げられ、競馬ファンに興奮と感動を呼び起こしています。

## 横64m、縦10.8mの超大型ディスプレイ。圧倒的な迫力と表現力豊かな高画質映像を表示

映像表示装置は、ゴール側(1号機)を最新鋭の超大型マルチ画面ターフビジョンに、4コーナー側(2号機)をターフビジョンに更新し、平成19年10月より本格運用が開始されました。

ゴール前のマルチ画面ターフビジョンは(1号機)、横64.0m×縦10.8m、画面サイズ691.2㎡の大きさで、東京競馬場に次ぐ世界最大級のディスプレイです。さらに、画面からスタンドまでの距離(135m)が近いこと、大画面の迫力をダイレクトに客席で観戦することができ、臨場感あふれる高画質で鮮明なハイビジョン映像が提供されています。

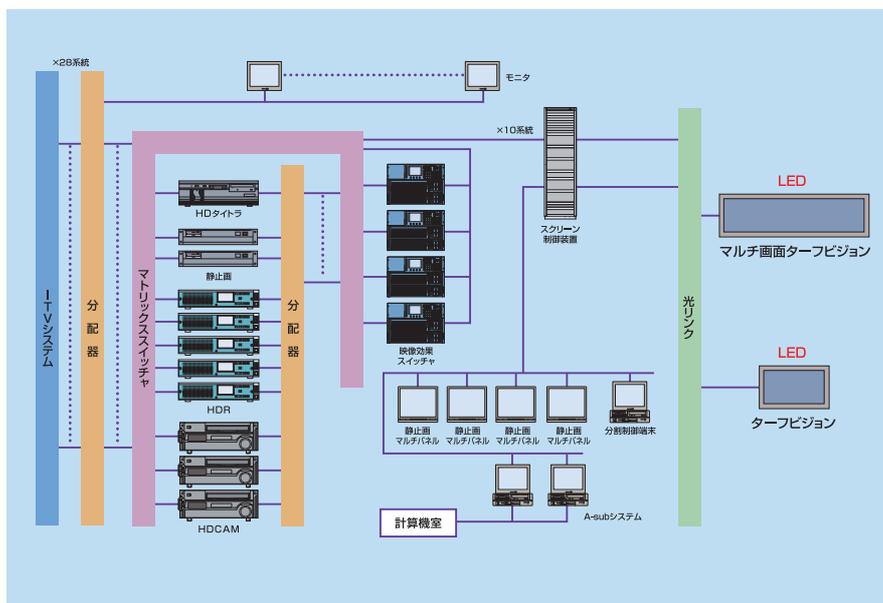
ハイビジョンカメラ3台で撮ったライブ映像のほか、パドック映像、オッズデータ、他競馬場の実況レースなどを組合せたマルチ3画面利用のハイビジョン放映や超ワイドな一画面表示、ワイド画面+通常画面表示など、よりエキサイティングな映像、より多くの情報がタイムリーに表示されています。

また、縦864ドット×横5,120ドット、合計4,423,680ドットの高密度LEDチップの構成で、高精細なハイビジョン映像を表示。各色8,192階調制御によるきめ細かな色表現とピュアグリーンを2素子/1絵素の使用で自然な色再現性を実現しています。



ゴール側に設置された超大型マルチ画面ターフビジョン(1号機)と4コーナー側に設置されたターフビジョン(2号機)

## ■システム図





世界最大級のディスプレイ(横64m×縦10.8m)で、圧倒的な迫力と高画質なハイビジョン映像を表示するマルチ画面ターフビジョン



ハイビジョン映像3画面を同時表示



ワイド画面十通常画面でエキサイティングな画面を提供



フレキシブルな情報画面表示



超ワイドな一面表示



映像調整卓



A-SUBシステム



VTR

映像制御架

### 仕様

項目	マルチ画面ターフビジョン	ターフビジョン
表示面寸法	横64.0m×縦10.8m	横18.0m×縦9.6m
表示面積	約691.2㎡	約172.8㎡
絵素数	縦432×横2,560=1,105,920	縦384×横720=276,480
画素数(LEDチップ)	縦864×横5,120=4,423,680	縦768×横1,440=1,105,920
表示素子	発光ダイオード(フルカラーLED)	
表示階調	8,192階調	
絵素ピッチ	 25mm (ドットピッチ12.5mm) 12.5mm 田の字配列 単位:mm	
水平走査線数	864本	768本
輝度	5000cd/m <sup>2</sup>	
輝度調節	64段階	
素子寿命(輝度半減期)	約50,000時間	
視認角度(輝度半減値)	水平:±65° 垂直:±15°・-30°	
使用温度条件	-10°~+40°	
平均消費電力(空調込)	390kW	90kW
外形寸法	高さ11.9m×幅65.0m×奥行2.3m	高さ10.6m×幅24.4m×奥行2.4m